

論壇

コロナで需要大幅縮小

4月20日、ニューヨーク市場に上場する石油先物取引の価格がマイナスになった。先物市場取引という複雑な取引であるのであまり単純な説明をしないように気をつけなければいけないが、価格がマイナスということは石油を購入した人に対して、石油を売った人からお金が支払われるということだ。ただでもらえるだけでなく、それにお金を付けてくれるというのだから、異常なことが起きていることは明らかだ。何しろ史上初の出来事である。

この背景には、世界的な石油の

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

石油マイナス価格と不況長期化

過剰供給がある。OPEC(石油輸出機構)の減産の結束が崩れ、米国でのシェールオイルの供給の拡大が続く、世界の石油はだぶつき気味だった。そこで新型コロナウィルスの問題が起きた。世界中の飛行機が飛ばず、空港、道路はガラガラ、工場の操業も低迷している。その結果、石油の需要が大幅に縮小する結果になった。

石油というのは、水道の蛇口と違う。供給量を減らそうとしても油田の出口を止めてしまうと、圧力が下がってしまい、再度石油を出すのは難しいことも多いようだ。だから石油が余っていても、産油国は石油を出し続けるしかない。

出した石油を砂漠などに捨て、輸出国機構の減産の結束が崩れ、米国でのシェールオイルの供給の拡大が続く、世界の石油はだぶつき気味だった。そこで新型コロナウィルスの問題が起きた。世界中の飛行機が飛ばず、空港、道路はガラガラ、工場の操業も低迷している。その結果、石油の需要が大幅に縮小する結果になった。

は石油をタダで押し付けようとする。マイナス価格は一時的な現象は違いないが、石油価格が異常に低くなっている状態は当分続きそう。消費者からみればガソリンが安くなつてよいという無邪気な意見もあるが、そんなに簡単なことではない。

歴史的な大きな転換点

石油価格の低迷は、サウジアラビアやロシアのような産油国を直撃する。地政学的にも脆弱である中東の情勢にも影響を及ぼす。シェールオイルで急拡大した米国では、石油関連で1千万人近い雇用を抱えていると言われる。石油問題は、米国の深刻な雇用問題に結びつきやすい。さらに、石油は金融とも結びついている。原油先物への投資で中国や韓国の投資家が大きな損失を出したというような報道もある。皆さんの周りにそうした投資家がいなかったことを願っている。

石油市場でこれだけの大変なことが起きている最大の原因は、新型コロナウイルスによって世界の石油需要が大幅に減少したことだ。ここでもウィルスが猛威を振るっている。日々、ウィルス問題の報道でウンザリと思っている読者が多いだろうが、ウィルスの影響は石油市場一つだけを例にとってもこれだけ大きい。今後、さらに他の分野にもウィルスの影響が出てくることを覚悟しなくてはならない。

ウィルスの感染が広がり、経済活動が制限されている今の状態は、その最初のステージにすぎないのかもしれない。これが今後、金融市場や原油あるいは世界の経済全体の動きにどのような影響を及ぼすのか、注視していかなくてはならない。過度に悲観的になる必要はないが、私たちが今歴史的な大きな転換点にあることは確かだ。